

2024 年度 研究委員会企画シンポジウム

学校・教師を支える教育心理学とは？

- 司会 : 青木多寿子（岡山大学）
- 企画趣旨説明 : 水野治久（大阪教育大学）
- 話題提供 : 木村 優（福井大学）
授業研究を通して学校の発展と教師たちの育ちを
支援する
- 話題提供 : 橋本創一（東京学芸大学）
特別なニーズのある子どもの支援と教育心理学による
実践研究の貢献
- 話題提供 : 高木 亮（美作大学）
教師のストレス研究の視点から学校を支援する
- 話題提供 : 脇本健弘（横浜国立大学）
教師教育・キャリアの視点からの学校との関わり
- 指定討論 : 中谷素之（名古屋大学）

企画趣旨：

教育心理学の研究者・実践者はどのように学校・教師そして児童生徒を支え、研究を開いていけば良いのでしょうか。学校現場の学びや児童生徒との関わりは、コロナ禍以降、大きく変わりつつあるという実感を持っている会員もおられると思います。現在、我が国の学校現場では、学校運営や教育そのもののあり方、児童生徒の支援やその方法、教師自身の業務を巡り、様々な議論が展開されています。このシンポジウムでは、単に研究成果をご披露いただくだけでなく、多様性に満ち、様々な改革に取り組む学校現場や教育委員会へのフィールドエントリー、研究や実践の展開、研究成果の蓄積、学校への貢献などについて、同時双方向のスタイルで自由に議論を開くことを考えております。会員の皆様が教育現場との関わりについて振り返る機会となれば幸いです。